

WORKSHOP
てくてくワークショップ

2019年3月10日(日)

14:00-15:30(受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣 2F

定員：120名

善通寺の本尊 薬師如来像と 運長

講師

三好賢子

日本彫刻史研究家
Masako Miyoshi

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから <http://www.zentsuji-tekuteku.jp>

てくてくワークショップ

“善通寺の本尊薬師如来像と運長”

善通寺が創建された当初の本尊は土（粘土）製の薬師三尊でしたが、永禄元年（1558）の火災で堂宇とともに失われてしまいます。その再興がなかったのは、江戸時代、18世紀はじめ、光胤住持の代でした。金堂再建の大プロジェクトにともない、本尊の薬師如来像は、京の「御室大仏師 北川運長」によって新調されました。今や、この一丈六尺の本尊は、県下でも有数の近世彫刻と言えるでしょう。善通寺には、この本尊の造立に際して、仏師と寺側で交わされた複数の文書がのこされています。また、近年の薬師像の調査ではその像内から納入文書が発見され、これまで知られなかった開眼供養日なども判明しました。これらの貴重な文書史料を紹介しながら、仏師運長や本尊造立の当時の様子などについて探っていきます。



日本彫刻史研究家

三好賢子 Masako Miyoshi

東京都生まれ。早稲田大学大学院文学研究科美術史専攻博士後期課程了。専門は日本彫刻史。1997年、香川県教育委員会事務局歴史博物館建設準備室に配属、歴史博物館（現：香川県立ミュージアム）の開館に際し、常設展示室「空海室」を担当。以来同館で学芸員として勤務し（2017年より、県教育委員会事務局へ転出）、『香川の名宝展』『いとうるわし。日本の美 一京都国立博物館名品展』『四国へんろ展 香川編』などの特別展を担当。論文「高松藩主初代松平頼重による造仏について 一新出の法然寺愛染明王像を中心に」、共著『神像彫刻重要資料集4 西日本編』ほか。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるこ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは有岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩く、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町3-3-1
Tel : 0877-62-0111(代) Fax : 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由し JR 善通寺駅までお越しくさださい（約 60 分）○高松方面より JR 高松駅から予讃線・土讃線で JR 善通寺駅までお越しくさださい（約 60 分）○JR 善通寺駅より徒歩約 20 分/タクシー約 3 分/市民バス（無料）を利用して約 8 分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩 3 分

お車でお越しの方○岡山方面より 瀬戸中央自動車道 坂出インターより約 20 分 ○徳島・愛媛方面より 四国横断自動車道 善通寺インターより約 10 分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入り口があります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約 50 分※高松から JR 利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で 30～40 分かかります

